



ひがしそのぎ 議会だより

第158号

龍頭泉（白木淵と滝の上の美術館）

6月定例会

平成29年度一般会計補正予算減額修正	2 ページ
町政を問う！6人が一般質問	3～5 ページ
請願・専決処分	6～7 ページ
条例改正・議会委員会構成	8 ページ
議会活動報告	9 ページ
町民の声・編集後記	10 ページ

【町長】補助金の返還は考えておりません。確かに「既存の施設の維持、改

【町長】補助金の返還は考えておりません。確かに「既存の施設の維持、改

補助金管理、まだまだ
疑惑多々あり

大石 俊郎 議員



一般質問

(本稿は質問者の責任で作成しています)

【議員】まちづくり推進条例には、構成員は町内に住所を有するものと明確に定められているが、【町長】まちづくりというのは、町内の人だけでは出来ません。ソリッソリッソあたりを見て貰えば、お店をやっておられる方は全て町外の方です。町外の人であっても問題ないだろうと。誰か(町内の人) いればいいという事です。【議員】赤木の棚田と自然を守る会の事業、倉庫改修工事として、約38万円が補助されているが、規則に抵触しており、補助金の返還は。【町長】補助金の返還は考えておりません。確かに「既存の施設の維持、改

し、町もおかしいと指摘だがそれは指導は正中です。(チョット間をおいて) 7月末をもって、返還で決定しております。【議員】七夕まつりの構成員の中に、3地区の自治会長及び区長6名の名前が記載されているが、少なくとも、2地区の自治会長さんは、構成員として了承していないという事だが。これは公文書偽造ではないのか。【町長】それは、本当に承諾したのか判りません。【議員】七夕まつりの構成員の中にまちづくり課長(高月課長)が副会長として、入っている事に問題点はないのか。【町長】補助金をやる側と受ける側にいるのは、利益相反行為的にとられるので、あんまり良くないと思う。しかし、メンバーが自治会長とか素晴らしい人材が入っていますので、不正はないものだと思っております。【議員】七夕まつり、27年度、28年度の射的コーナーなど売上金や協賛金を別管理している特別会計の存在、ご存じでしたか。【町長】特別会計を先程調査致しました。残金が何処にいったかという事を確認致しました。

吉永 秀俊 議員
15年ぶりの道の駅との契約はなぜ、定期建物賃貸借契約にしなかったのか
【議員】町長は昨年6月の一般質問で私だけではなく他の2名の議員に対しても、来年の契約更新では、定期建物賃貸借契約にすると何回も言っていたが、なぜ、そうしなかったのか。
【町長】定期建物賃貸借契約を申し入れたが、彼らの荘から断られた。契約内容や協定書などは前回とほぼ同じ内容になっている。(用語説明)
定期建物賃貸借契約とは契約期間が満了になると、現在の借主(彼らの荘)以外とも公募などで新たな契約ができる。建物賃貸借契約とは現在の借主(彼らの荘)が断れない限り、他との契約ができない。すなわち町の所有である道の駅を

半永久的に彼らの荘だけが独占的に借り続けることができる
【議員】昨年の答弁では「14年前の池田町長の契約は間違っていた。だから食堂棟は定期賃貸借契約にした」とも言っておられるが、一般質問での答弁は質問した議員だけではなく、議会全体に対する答弁でもある。そもそも定期賃貸借契約にできなかった契約を「定期建物賃貸借契約にする」と答弁したのではないのか。これでは「うそつき町長」と言われても仕方がないので。
【町長】嘘は言っていない。発言を取り消してください。
【議員】道の駅は27年度に全国38カ所の重点道の駅に選定されたが、今後どのような整備計画があり、どのようなメリットがあるのか。
【町長】地方創生の小さな拠点づくりによる補助がある。町営バスの発着所、障害者施設との連携、防災拠点、屋台村などを計画している。
【議員】重点道の駅に選定された最大の理由は農産物の集荷や高齢者の買い物支援を障害者施設と

連携して実施する事となっているが、協議はどうなっているのか。
【まちづくり課長】今後、十分な話し合いを行う計画になっている。
【議員】給食センターは昭和56年に建設され老朽化のため、食品衛生安全管理上のリスクが大きくなっている。新築・改築の予定はないのか。
【町長】公共施設総合管理計画に入っているが、早急な新築は財政的に無理と思われる。
【教育長】管理栄養士の話では県内で最も調理環境の良くない施設の一つと聞いている。
【議員】今年4月から中学生までの医療費無料化を実施しているが、9年間全く恩恵を受けない子供が多すぎる。全ての児童・生徒が対象となる給食費の半額の補助や第2子からの無料化などが税金の平等・公平な施策と思われるが。
【町長】既に給食材料の半分を町が負担しているので、これも財政的に厳しいと思われる。

一般会計補正予算修正案可決

平成 29 年度東彼杵町一般会計補正予算

歳入歳出それぞれ2億1294万6千円を追加し、歳入歳出の総額をそれぞれ50億9494万6千円とするもの。

歳出の主なもの、地域づくり人材育成事業委託料397万2千円、構造改善加速化支援事業補助金2659万8千円、広域基幹林道虚空蔵線法面改良工事費等2530万円、音琴地区浚渫工事追加費1000万円、災害情報伝達システム構築業務委託費1億2396万6千円等である。

歳入では、国庫支出金1155万4千円、県支出金2882万7千円、町債1億2700万円等が追加計上されている。

慎重に審査した結果、地域づくり人材育成事業委託料397万2千円については財源が100%一般財源である。また、地域における人材育成事業は長期的展望の下、町民・行政の協働によりなされるものであり、短期的な委託事業（その上委託業者が指導するのではなく、単に幹施をするだけ）にはなじまない事業であるとの意見が多数あったことから歳出における地域づくり人材育成事業委託料並びに歳入における繰越金について、それぞれ397万2千円を減額とする予算修正案を全議員一致、可決しました。また、修正部分を除く原案について採決を行い、全議員一致可決しました。

4案は原案を可決

平成29年度東彼杵町国民健康保険事業特別会計補正予算

歳入歳出それぞれ29万2千円を追加し歳入歳出予算の総額をそれぞれ15億3109万2千円とする。

平成29年度東彼杵町介護保険事業特別会計補正予算

歳入歳出それぞれ24万2千円を追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ9億524万2千円とする。

平成29年度東彼杵町後期高齢者医療特別会計補正予算

歳入歳出それぞれ16万4千円を追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ1億366万4千円とする。

平成29年度東彼杵町公共下水道事業特別会計補正予算

歳入歳出それぞれ190万円を追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ3億4185万円とする。

珍しいことがあったんだね！



音琴地区浚渫工事予定地

【議員】 今年是全国お茶まつりが本県で、開催されるが対策は。

【農林水産課長】 町内で35農家と50釜で対応をしているところである。

【議員】 東彼杵町でどれ位の出品を考えているのか。

【農林水産課長】 全国で115点、本県で30点であり、本町が県の審査会で上位にどれだけ入るかで出品出来る件数が決定する。

【議員】 どのような審査をするのか。

【農林水産課長】 欠点探し（減点方式）である。

【議員】 本選に向けて取り組みだことは。

【農林水産課長】 茶葉に傷がつかないよう、パロンの下に隙間が出来るように段ボール等での被覆

平成29年度の町長の各種施策の取り組みは

口木 俊二 議員



【議員】 炭焼きプロジェクトの支援策は。

【町長】 職員、地元の人で応援・支援している。

【議員】 定住に向けての策は。

【町長】 3年後時期が来たらどうするかは本人で決めるもので金銭面の支援はしない（国から協力隊には支援金が出ている）。

【議員】 水産業では後継者問題が課題であると聞いているが、今後の対策はどうするのか。

【町長】 今現在、大村湾の漁協で若い後継者がいるのは音響漁協に1人だけしかいない。

【議員】 町での支援策は。



県茶品評会審査の様子

【議員】 子ども食堂について行政としての考えは

【町民課長】 以前3町で話したことがある。今後出来るかできないか検討したい。

生活困窮世帯の支援策は

【議員】 生活困窮世帯をどうしたら支援できるのか、対策は。

【町民課長】 社会福祉協議会や東彼福祉組合に相談してもらっている。生活保護世帯・母子・父子世帯合せて130世帯160人ほどである。

【議員】 子ども食堂について行政としての考えは

【町民課長】 以前3町で話したことがある。今後出来るかできないか検討したい。

【町長】 行政ではどうすることもできない。公募をして来てもらうしかない。漁協でもっと力を入れてやってもらいたい。

【議員】 お茶畑ロードレースのおもてなしボランティアとの意見交換は

【教育長】 意見交換会はしている。団体の役員として。

【議員】 役員だけではなく関係者ともできないか。

【教育長】 役員の方にもそういう話を吸い上げてきてもらい参考にしていきたい。

森 敏則 議員



トレーニングセンター無料化を検討

【議員】 東部コミセンに放置している運動機器を有効利用して、東部地区の「高齢者介護予防筋力向上トレーニング教室」の開講を求めるが、町長の見解を伺う。

【町長】 指導者不在での器具使用は危険であるため、他の施設に移動し通所サービス等で利用を検討したい。

機器を使用できる体力のある人は、総合会館のトレーニングセンターを利用して頂きたい。

【議員】 トレーニングセンター利用については、六十五歳以上（可能であれば町民の利用）を無料化するのが望ましいと考えるが、見解を伺う。

【町長】 無料化の方向で検討する。

付度（そんたく）は無い



【議員】 予算計上する上で、付度（そんたく）する事があるか伺う。

【町長】 町民の要望が、予算に反映することはあるが、付度（そんたく）は無い。

【議員】 当初予算は、町の将来を考え次世代への基盤づくりの投資、及び町の暮らしに繋がる施策等を配分し、それぞれの事業を検証し、選択と集中による事業の重点化を考慮し、予算編成に取り組むべきであると捉えている。

補正予算は、当初予算を補正するものであり、

不測の事態・突発的な災害対策として計上されるものと捉えている。

当初予算を編成する上では、施政方針を基本として反映する編成とすべきであると考えているが、なぜ当初予算に計上しないのか伺う。

【町長】 すべての提案権は、町長に認められているので、説明の必要は無い。当初予算・補正予算は、計上する時期が違うだけであり、どちらも同じ考え方、地方財政計画の見直し等を加味し、要求基準を定め、計上している。

【議員】 どうしても必要5として計上された補正予算にも関わらず、未執行（土地買収等が困難な場合を除く）は、適正では無いと思うが町長の見解を伺う。

【町長】 当然必要とした予算は、議会の議決をされたものであり、執行しないことは、不適正であり怠慢である。

【議員】 議会が承認した予算であるので、適正な執行を求める。

【町長】 肝に銘じて取り組む。

立山 裕次 議員



町内公共施設の総合管理計画と改修等は

【議員】 将来、施設の複合化・転用・統廃合・集約等を考えておられるが具体的な施設はどこなのか。

【町長】 具体的な施設は総合管理計画を基に今後検討するが、人口減少等を考えると25%程度の削減が必要と思う。

【議員】 本町の1人当たりの施設の保有量は全国平均の1.8倍という事ですので多いと思うが、面積等を考えると本当に削減が必要なのか。

【町長】 私も人口だけで保有量が多いとは考えていませんが、削減は必要と思うので、各地域に不便が生じないような計画を立てて進めていきたいと思っています。

【議員】 本年度より4年間、役場庁舎の建替え等に国から財政措置がなされましたが、活用する考えはあるのか。

あるのか。

【町長】 現時点ではつきりしたことは言えないが中学校の統合を進めているので、校舎等の活用も考えながら検討していく。

【議員】 町内の学童保育を実施している施設は、新耐震基準導入前に建設されているので、児童の安心・安全を考える時に早急な耐震補強が必要と思うが町の考えは。

【町長】 わくわくハウスのついては、小学校の教室が空いているので移転できないか考えている。ここにこハウスについては、保健センター等の活用を考えているが具体的には決めている。どちらにしても、現在の実施施設を耐震化する予定はない。

東そのぎ特産つまかもんフェスタの開催内容の変更点は

【議員】 本年度のつまかもんフェスタの中で1地域1特産品以上のコンテンツト出品を募集されますが、詳しい内容と地域への周知はどうするのか。

【町長】 今現在は、予算計上だけで今後プロジェクトチームを作り進めていきます。趣旨としては地域の



域の特産品の掘り起こしです。

【農林水産課長】 今、考えていることは東彼杵町産の物を使用した農林水産加工品（漬物・パン・調味料等）を特産品として町づくりに活かしていきたいと思っています。また、地域だけではなく、個人・法人・グループ等も対象です。周知については地域の方には7月の区長会で、その他の方には8月以降広報紙等で行います。

【議員】 町内の魅力等を町内外に発信するため、同時期に歴史公園等を活用し各地域の伝統芸能等を披露したらどうか。

【町長】 いずれは道の駅を活用して行いたいと思っていますが、用地交渉等が済むまでは、歴史公園等の活用も検討したい。

岡田伊一郎 議員



県内就職による定住は

【議員】 就職氷河期の時は求人倍率が低く、都会での仕事場を求めざるを得ませんでした。現在では地方でも学生の就職が十分可能になりました。長崎県は優秀な人材に県内にとどまってもらうための予算が増額されました。

町内出身の高校、大学卒業業者への就職対策は。

【町長】 町内出身の高校卒業生は5年間で451名、町外に就職、進学された数が146名（32.4%）となっている。国・県平均みたいに減っていないので、今後は中学生以下に町内の企業紹介やパンフレットなどを作成し、将来町内にとどまってもらうよう対策を講じていきたい。

【議員】 職場を長崎市、佐世保市、佐賀市まで広域的にとらえ高速道路や新幹



線を利用したライフスタイルなど通勤費の助成は。

【町長】 そういうことも検討はしていくが、町内にとどまってもらうには家庭内での話し合いも重要だと考える。

町内には非常に優良な企業も進出してもらっている。情報提供をしていきたい。

すでに町外から30名以上の方が移住されており、町の魅力を発信してもらっている。

本年8月1日から町内全ての地区で光プロードバンド回線の提供が開始されるので、若者定住の条件整備になると思う。

夏休みの分散は

【議員】 夏と冬、学年末などの休暇以外に分散化させ、新たな長期休暇を確保する方向で国では検討されています。

どこに移すかは自治体ごとに判断することになり、休日数は増やさずカリキュラムには影響させないよう配慮するとなっています。分散化させることによる利点と保護者への周知の時期は。

【教育長】 キッズウィークによる休暇が分散化されることで、旅行などの混雑緩和と観光経費の増額見込みによる経済活性化で1兆円に上ると言われています。

地域行事などに参加することで豊かな人間性も醸成できると考えます。

しかし、保護者の休暇取得とも関連してくるので、早めの周知は必要と思う。

4 平成28年度東彼杵町国民健康保険事業特別会計補正予算(第3号)

歳入歳出をそれぞれ7227万8千円減額し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ14億4045万4千円とするもの。

5 平成28年度東彼杵町介護保険事業特別会計補正予算(第3号)

歳入歳出をそれぞれ1億2338万2千円減額し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ7億9994万円とするもの。

6 平成28年度東彼杵町後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)

歳入歳出をそれぞれ51万9千円減額し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ9981万6千円とするもの。

7 平成28年度東彼杵町農業集落排水事業特別会計補正予算(第1号)

歳入歳出をそれぞれ382万円減額し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ3718万円とするもの。

8 平成28年度東彼杵町漁業集落排水事業特別会計補正予算(第1号)

歳入歳出をそれぞれ299万円減額し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ711万円とするもの。

9 平成28年度東彼杵町公共下水道事業特別会計補正予算(第4号)

歳入歳出をそれぞれ778万7千円減額し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ3億2809万4千円とするもの。

※ **専決処分** とは、本来、議会の議決・決定を経なければならない事柄について、地方公共団体の長が地方自治法(昭和22年法律第67号)の規定に基づいて、議会の議決・決定前に自ら処理すること。



請願第1号

まちづくり支援交付金等審査特別委員会の審査報告書について、記載内容の訂正を求める請願書

請願理由

特別委員会審査報告書には、監査委員による調査結果は反映されず、一方的な判断によるものであり、事実誤認のまま、公文書として存在し続けるため。

経 過

総務厚生常任委員会に付託された結果、閉会中の継続審査を申し出たが、本会議において反対多数で否決され審議未了となった。

専決処分9件をすべて承認

1 東彼杵町税条例の一部改正

地方税法及び航空機燃料譲与税法の一部を改正する法律(平成29年法律第2号)、地方税法施行令等の一部を改正する政令(平成29年政令第118号)及び地方税法施行規則の一部を改正する省令(平成29年総務省令第26・27号)が平成29年3月31日にそれぞれ公布され、原則として平成29年4月1日から施行されたため。

主な改正内容

- ・ 配偶者控除、配偶者特別控除の見直しにかかる定義等の整備
- ・ 軽自動車税のグリーン化特例適用期限の延長
- ・ 地方税法で定める固定資産税の特例措置の整備
- ・ その他法律改正にあわせた規定の整備

2 東彼杵町国民健康保険税条例の一部改正

地方税法施行令等の一部を改正する政令(平成29年政令第118号)が平成29年3月31日に公布され、平成29年4月1日から施行されたため。

3 平成28年度東彼杵町一般会計補正予算(第7号)

歳入歳出をそれぞれ1億1746万1千円減額し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ51億3462万4千円とするもの。

歳出の主なものは、繰出金、扶助費などの減額、積立金として、ふるさと創生事業基金、下水道事業基金、教育文化施設整備基金、庁舎整備基金等である。

歳入の主なものは、国庫支出金、県支出金、町債等の減額、町税、特別交付税の追加等である。

平成28年度の最終予算額は対前年比△2.6%(△1億3583万円)の減となった。



議会活動報告

総務厚生常任委員会

平成28年度各種事業の実績確認（補助事業等による活動で取り組まれた事業実績の調査）

ちやぶ台三葉 彼杵宿通りにある空き店舗を活用して、人の集まるコミュニティスペースを作り「人の温かさ」「つながり」「和（輪）」を、家庭料理を通して表現し気軽に立ち寄れる店づくりを目指して改装された店である。起業・就業安定化支援事業及び拠点整備事業の活用で、事業費約600万円が投じられ、その内300万円が補助金として支払われている。

長咲プロジェクト協議会(Sorriso riso) 平成27年度地方創生先行型交付金を活用し使われなくなった旧JA米倉庫を蘇らせ、一流の田舎づくりを住民視点で主体的の取り組み、行政と連携を図りながら活性化を目指されている。実績としてはネット戦略、地域ブランディング、ワークショップの開催（婚活事業・町のことを考える・字書落語・トークセッション）等が実施され、地方創生加速化交付金の活用で、約300万円弱が支払われている。



(Sorriso riso)

東そのぎロハスの郷 NPO法人として自然農法を取り入れることにより人の健康増進を図ることを目的とした団体である。平成27年度は1,300万円超の委託費が支払われライフサポート事業、食育事業、ファーム事業、活用事業が行われたが、平成28年度は予算計上にもかかわらず活用されていない。現在11人が住まわれている。

千綿食堂 4月1日から町との新契約により管理委託と合わせて営業されている。カレーライスを主に提供され営業時間は、11時から18時まででされている。海岸線沿いにある千綿駅から見る夕日は大変素晴らしいことから、土曜・日曜日には約100人の人々が来訪されるそうである。

産業建設文教常任委員会

青年就農給付金受給者の現状を調査

平成24年度から開始された本制度は、就農前の研修を後押しする資金（準備型2年以内）と就農直後の経営確立を支援する（経営開始型5年以内）があるが、本町では全員年間150万円を最大5年間受給できる経営開始型で、町内受給者は現在9名（1組は夫婦）であり、その内訳はアスパラ5軒、お茶2軒、イチゴ1軒である。

調査はアスパラ就農者5軒（4軒は町外から移住）とイチゴ就農者1軒（町外から移住）を行ったが、その中で平成24年に就農されたアスパラ就農者（町内受給者第1号）は28年度所得が250万円を超えており、就農支援対策により自立経営の確立が図られつつある。

この制度を利用した就農者9名のうち6名は町外からの移住者で、しかも農業は初めての経験者であり、5年間の独立自営の目標達成については前途多難が想像されるが、全員が意欲的かつ熱心に取り組まれているので、定住促進の観点からも、独立自営までの町独自の支援策の検討が望まれる。



職員の育児休業等に関する条例の一部改正

人事院規則が改正されたことに準じ、所要の改正がなされた。

辺地に係る公共的施設の総合的整備計画

整備目的：光情報基盤整備事業を実施し、都市部と変わらない通信環境の整備とICTを活用した地域情報配信システムの構築

整備地域：中尾、太ノ浦、中岳、遠目、蕪、一ツ石

整備計画：平成29年度から平成33年度まで5年間

全体事業費：中尾（953万円）、太ノ浦（726万円）、
中岳（2億6,125万円）、遠目（656万円）、
蕪（873万円）、一ツ石（2億6,796万5千円）

備考：中岳は道路事業を、一ツ石は道路事業、簡易水道、町営バスを含む

議会委員会構成変わりました(6月13日より)

委員会名	◎委員長 ○副委員長	
	委員名	
総務厚生常任委員会	◎吉永 秀俊	○岡田 伊一郎
	大石 俊郎	立山 裕次
	森 敏則	
産業建設文教常任委員会	◎浪瀬 真吾	○堀 進一郎
	橋村 孝彦	前田 修一
	口木 俊二	
議会広報編集常任委員会	◎口木 俊二	○立山 裕次
	大石 俊郎	前田 修一
	吉永 秀俊	橋村 孝彦
議会運営委員会	◎前田 修一	○口木 俊二
	森 敏則	浪瀬 真吾
	吉永 秀俊	橋村 孝彦
議長：後城 一雄 副議長：橋村 孝彦		

町民の声

音丸昌義(大音琴地区)

わが町東彼杵町は人口8,000人余りで減少の一途を辿っています。
 そのような中、昨年3月には大楠小、音琴小が閉校となり彼杵小に吸収される形で統合されました。
 全国的な傾向とは言え、3代に亘り通った小学校がなくなるのは淋しいものがありました。しかしながらここまで減少した児童数では学校として立ち行かないのは明白であり、学友が多いことは子供たちにとっても意味があり中学校に先立って実施されたことに評価もしているところです。
 とところで、中学校の合併ですが私が中学の時波佐見町は東中学校、南中学校の2校でしたがその後合併し、波佐見中学校となりました。波佐見町は面積も狭く、平地も広いので通学にさほど支障がなかった点等がスムーズに行った点といえるでしょう。
 わが町と一度は合併の話がある程度進んだ時期もありましたが結局結論が出ず、断ち切れになってしまいました。
 8,000人余りの人口のわが町では2つの中学校はどうでしょう。生徒数も少ない為、クラブ活動にも支障があるのではないのでしょうか。クラブの種目も限定的で、本来希望する部活が出来ていないのではないのでしょうか。一刻も早く2校が合併し、東彼杵町立東彼杵中学校(仮称)と新しい中学校に生まれ変わってもらいたいと思います。
 彼杵地区、千綿地区を結ぶ中学校として・・・。



町の声 大募集!!

議会だよりへ掲載する町民からの声を募集しています。
 ご希望の方は、町議会事務局までご連絡ください。



大石俊郎

前田修一

吉永秀俊

橋村孝彦

立山裕次

口木俊二

議会広報編集常任委員会

(口木)

今後も議会だよりをご愛読
 頂き、皆様の幅広いご意見や感
 想をお待ちしております。

梅雨も明け夏本番を迎えます。
 我々広報委員も入れ替り、
 町民の皆さんが議会だよりを、
 心待ちにしていただけのような
 紙面作りを目指して、日々努力
 を重ねていきたいと思ってお
 ります。

そして夏休みが始まる頃には
 田植えも終わり農家の方も
 一安心というところではないで
 しょうか。

編集後記